

II 市民生活

1 居住区

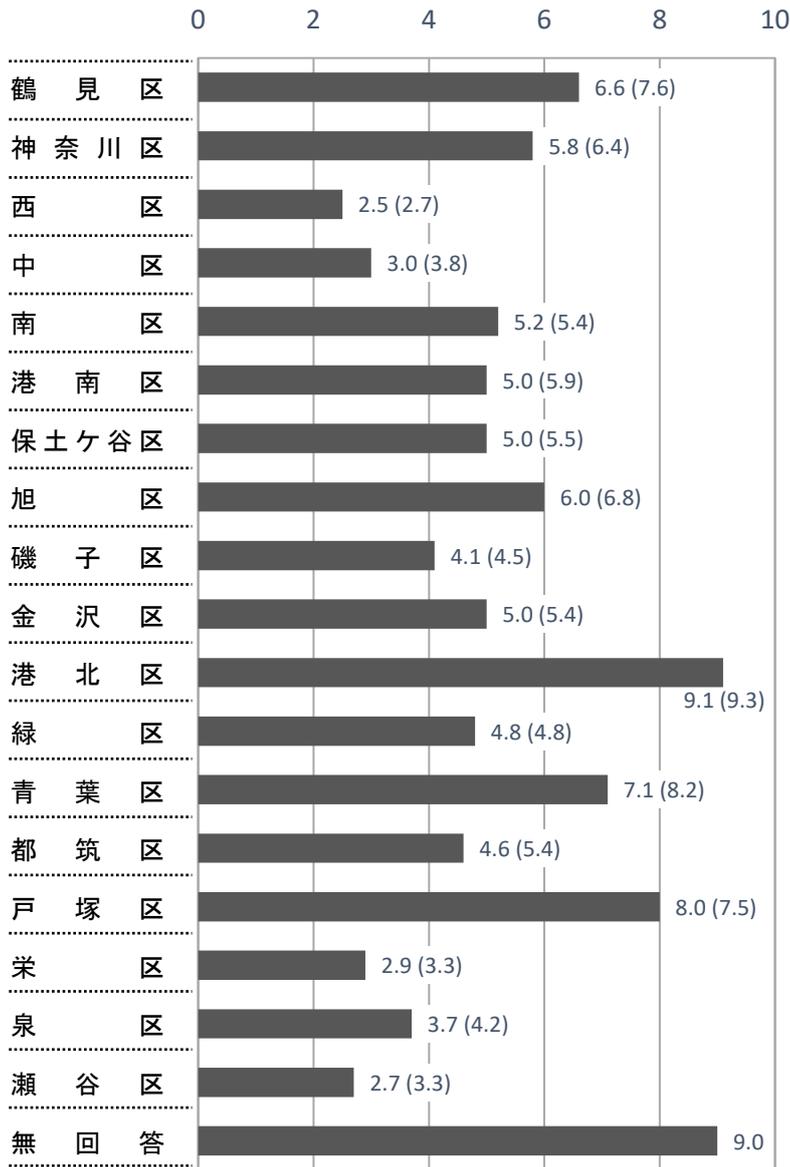
◇ 「港北区」が9.1%、「戸塚区」8.0%、「青葉区」7.1%、「鶴見区」6.6%で上位

問1 あなたがお住まいの地域は何区ですか。(○は1つだけ)

(n=2,300)

図表Ⅱ-1-1

(%)

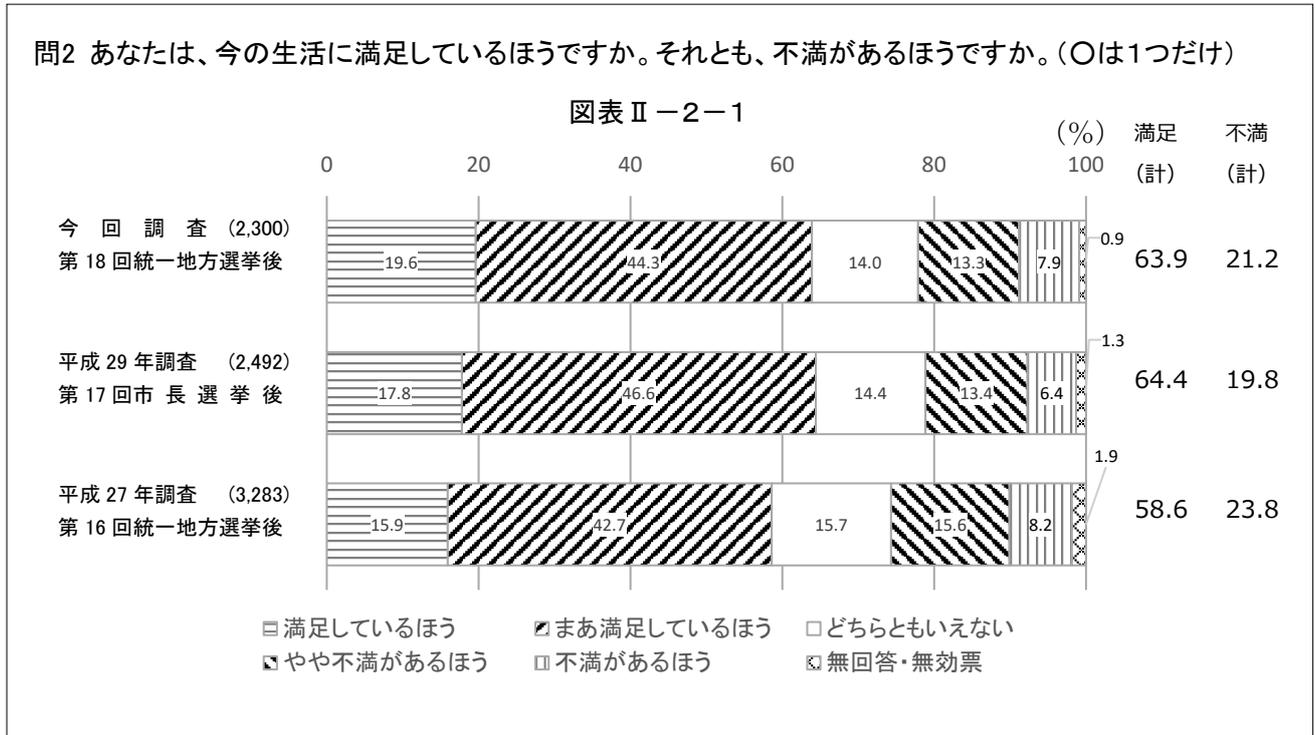


※ ()内は、横浜市全体の有権者から算出した区ごとの有権者の比率

居住区について聞いたところ、「港北区」が9.1%と最も多く、次いで「戸塚区」(8.0%)、「青葉区」(7.1%)、「鶴見区」(6.6%)などの順になっている。一方「西区」が2.5%と最も少なく、次いで「瀬谷区」(2.7%)、「栄区」(2.9%)などとなっている。これらは、区ごとの有権者の比率(グラフの中の()内の数字)にほぼ対応している。(図表Ⅱ-1-1)

2 生活満足度

◇ 『満足』している人は 63.9%



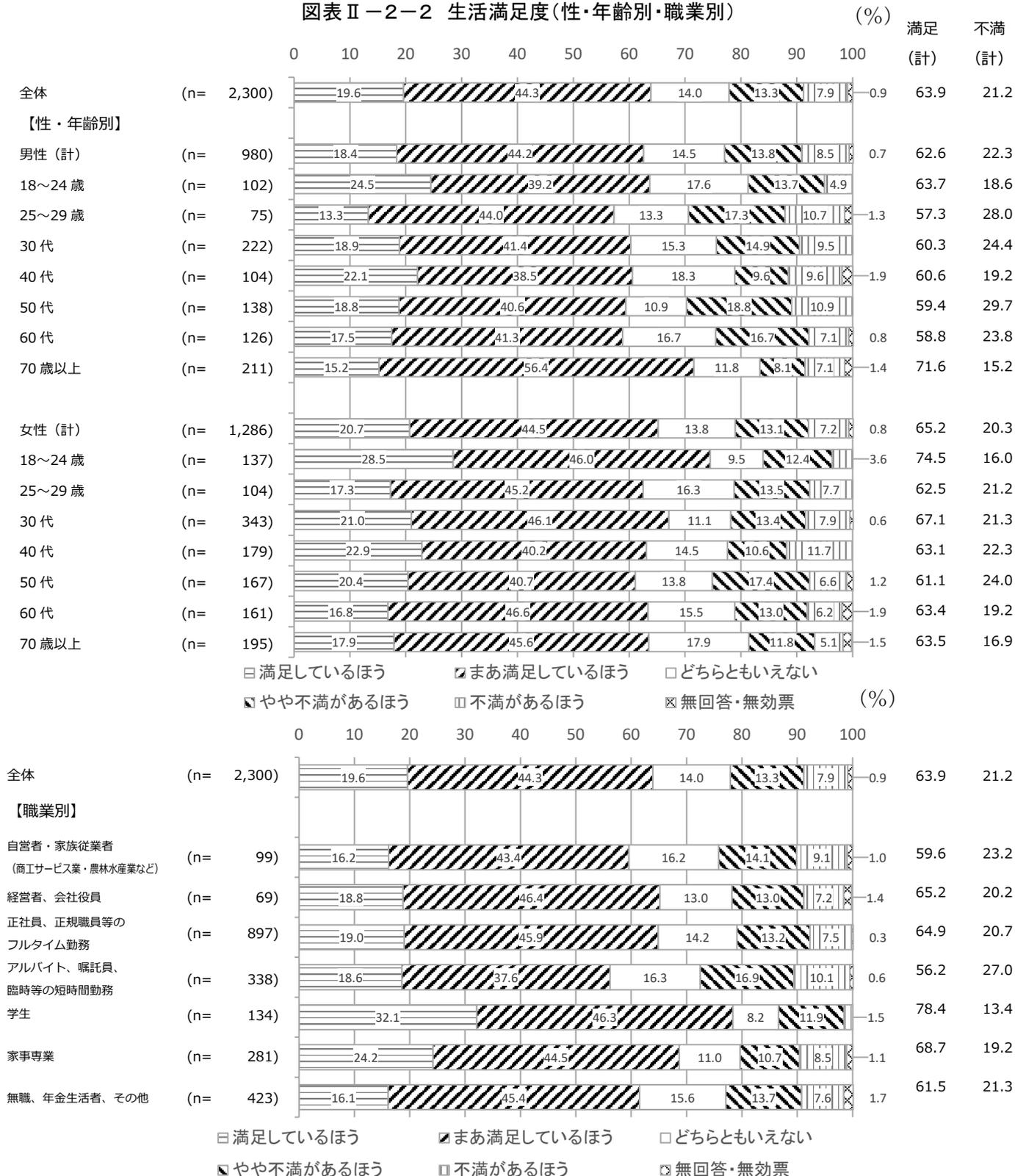
今の生活の満足度について聞いたところ、「満足しているほう」(19.6%)と「まあ満足しているほう」(44.3%)を合わせた『満足(計)』は63.9%となっている。一方、「やや不満があるほう」(13.3%)と「不満があるほう」(7.9%)を合わせた『不満(計)』は21.2%となっている。

平成29年調査(第17回市長選挙後)と比較すると、『満足(計)』(63.9%)は、前回(64.4%)より0.5ポイント減少している。(図表Ⅱ-2-1)

性・年齢別にみると、『満足（計）』は、男性（62.6%）、女性（65.2%）と6割以上となっており、女性18～24歳が74.5%と最も多く、男性では70歳以上が71.6%と最も多くなっている。『不満（計）』は、男性25～29歳が28.0%と最も多く、女性では50代が24.0%と最も多くなっている。（図表Ⅱ-2-2）

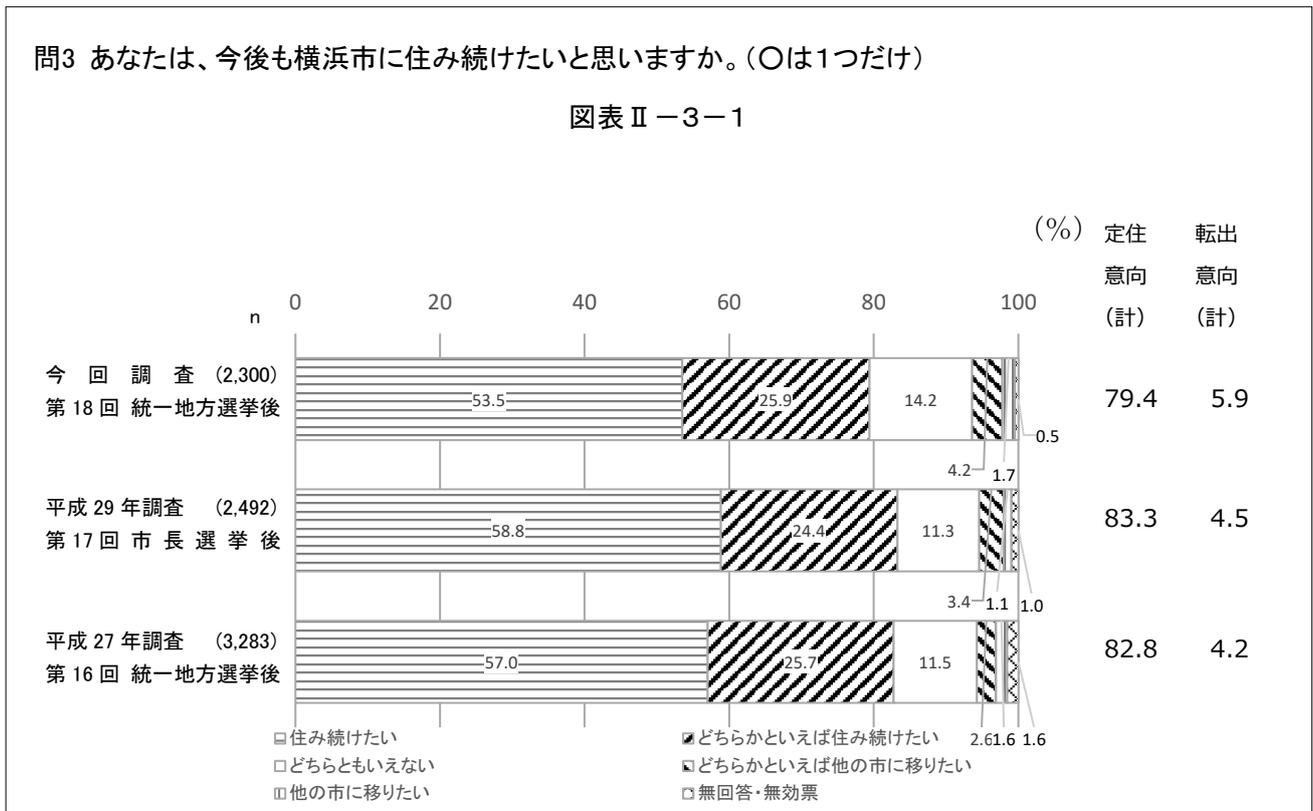
職業別にみると、『満足（計）』は、学生が78.4%、家事専業が68.7%、経営者・会社役員が65.2%と多くなっている。『不満（計）』は、アルバイト、嘱託員、臨時等の短時間勤務が27.0%、自営者・家族従業者が23.2%となっている。（図表Ⅱ-2-2）

図表Ⅱ-2-2 生活満足度(性・年齢別・職業別)



3 居住意向

◇ 定住意向は 79.4%



今後も横浜市に住み続けたいかについて聞いたところ、「住み続けたい」(53.5%)と「どちらかといえば住み続けたい」(25.9%)を合わせた『定住意向(計)』は79.4%となっている。一方、「どちらかといえば他の市に移りたい」(4.2%)と「他の市に移りたい」(1.7%)を合わせた『転出意向(計)』は5.9%となっている。

平成29年調査(第17回市長選挙後)及び平成27年調査(第16回統一地方選挙後)と比較すると、『定住意向(計)』はやや減少している。(図表Ⅱ-3-1)

区別にみると、『定住意向(計)』は、西区が87.7%で最も多く、次いで南区85.7%、中区85.3%とほぼ並んでいる。また、鶴見区(69.7%)のみ70.0%を下回っている。(図表Ⅱ-3-2)

生活満足度別にみると、『定住意向(計)』は、生活に「満足しているほう」と感じている人ほど高い傾向にある。一方、『転出意向(計)』は、「不満があるほう」と感じている人で20.3%となっている。(図表Ⅱ-3-2)

図表Ⅱ-3-2 居住意向(区別・生活満足度別)

